

(第2号様式)

南 工 第 2571号
令和5年 2月28日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立南部工業高等学校
校長 外間 昌繁
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月5日(火)16:00	場所	視聴覚室	出席 状況	5名中 5名参加
第2回	日時	12月15日 (木)16:00	場所	視聴覚室	出席 状況	5名中 1名参加
第3回	日時	2月20日(月)16:00	場所	視聴覚室	出席 状況	5名中 4名参加

2 学校評議員に求めた事項

- ・外部から見た南部工業高校の現状の評価。
- ・地域が南部工業高校に望むこと。
- ・1年間を終えて、学校の状況や生徒・保護者の評価を見て南部工業高校に望むこと。
- ・社会に出て行く高校生に身につけて欲しい力とは。

3 学校評議員の意見

- ・ものづくりなど工業高校の持っている良さを今後も維持して欲しい。
- ・工業高校生の制作した作品を地域へ寄贈して頂けるのはありがたい、工業高校生の技術力の高さに感心した。
- ・ものづくりの楽しさを学校ではしっかり教えて欲しい。
- ・体験学習で南部工業高校へ進学を決めた例もある、もっと外部へのアピールをして欲しい。
- ・定員割れしている状況への対策をしっかり行って欲しい。
- ・社会に出るに当たって人間関係が大事なので、社会性・協調性を育んで欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ・第1回オープンスクールでは体験学習を各学科ごとに行い、ものづくりの楽しさを感じてもらえる企画を行った。
- ・第2回オープンスクールでは工業祭と組み合わせることで本校で行っている取り組みを実際に見てもらい、工業高校で身につける技術を披露した。
- ・各種競技会等での生徒の活躍をHPやマスコミ等を活用して広報の多様化を図った。

5 課題その他

- ・定員割れを解消するために、本校の学習内容や生徒の活躍など広報活動の更なる多様化。
- ・地域との連携を図ったものづくりの推進。
- ・コロナ禍の中、育成の難しかった基本的生活習慣の確立や社会性・協調性の育成。